

11/26(火)の発表



報道発表資料の配付日時

11/26(火) 15時00分

発表項目 (行事名)	(週報) 腸管出血性大腸菌感染症の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所)	発表者	
	月 日 ( ) 時 分～	発表場所	
概要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆ (週報) 腸管出血性大腸菌感染症の発生について公表するもの。 紋別、帯広保健所</p>		
参考			

報道(取材) に当たっての お願い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	紋別、帯広保健所	

担当 (連絡先)	保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当: 角)		
	電話	(代表)	011-231-4111 (内線25-506)
		(ダイヤルイン)	011-204-5253

# 腸管出血性大腸菌感染症の発生について（週報）

令和元年（2019年）11月26日（火）15:00

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL 011-231-4111（内線：25-506）

FAX 011-232-2013

令和元年（2019年）第47週（11月18日（月）～11月24日（日））に、道立保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症（ベロ毒素産生性）が発生したのでお知らせします。

## 記

### 1 発生の概要

保健所	区分	性別等	発症日及び 主な症状	受診日	保健所 受理日	現在の状況	備考
紋別	患者 (O157)	男性 (20歳代)	11月16日(土) 水様性下痢、 血便、嘔吐	11月17日 (日)	11月20日 (水)	入院していたが回 復し、既に退院し ている。	—
帯広	① 患者 (O157)	女性 (幼児)	11月11日(月) 水様性下痢、 血便、腹痛	11月11日 (月)	11月18日 (月)	入院しているが、 症状は快方に向か っている。	—
	② 無症状病原体 保有者 (O157)	男性 (幼児)	—	—	11月23日 (土)	—	①の家族
	③ 患者 (O157)	女性 (60歳代)	11月21日(木) 下痢	—	11月23日 (土)	病状は快方に向か っている。(入院 はしていない。)	①の家族
	④ 無症状病原体 保有者 (O157)	女性 (幼児)	—	—	11月24日 (日)	—	①の家族
	⑤ 無症状病原体 保有者 (O157)	男性 (30歳代)	—	—	11月24日 (日)	—	①の家族

### 2 対応

- ・家族等の健康調査及び便検査
- ・患者及び家族等の喫食調査
- ・家庭等における手洗いの励行及び消毒等の清潔保持の指導

### 3 その他

この件については、本日15時00分、管轄保健所においても資料配付を行っています。  
 <報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。>

## 腸管出血性大腸菌感染症とは

概要：ベロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。(無症状病原体保有者)

感染経路：汚染された食品や、感染者の便が口に入ることによって感染する。(経口感染)

分類：感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間：3～5日が多いが、1週間以上の場合もある。

予防策等：手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況（2019年） 11月24日（日）時点

区分/O抗原型	8	18	25	26	74	91	103	111	115	121	128	145	146	148	157	165	不明	合計
患者		1	1	63		1	5	8			2	4			89	1	6	181
無症状病原体保有者				28	1	8	2	1			5	4	2		21		12	84
計		1	1	91	1	9	7	9			7	8	2		110	1	18	265

(単位：人)

※ 札幌市、旭川市、函館市、小樽市分を含む

※ 全道の状況については、北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。

(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>)